

## 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

### 1. 今後の見通し

予測期間: 2008年11月上旬から12月中旬までの旬別  
 対象海域: 道東海域、三陸海域、常磐海域  
 対象漁業: さんま棒受網漁業  
 対象魚群: 南下回遊群

#### 1) 道東海域

(1) 来遊量: 低位水準となり、11月上旬でほぼ終漁となる。

(2) 漁場: 11月上旬は、釧路～襟裳岬沖に漁場は残るが、散發的となり、終漁する。

#### 2) 三陸海域

(1) 来遊量: ゆるやかに減少し、11月上旬～下旬には中位水準、12月上旬に低位水準となり、終漁する。

(2) 漁場: 11月上旬は、久慈～金華山沖が漁場となる。11月中旬には久慈沖の漁場が消滅し、11月中旬～下旬は宮古～金華山沖が漁場となる。12月上旬は、三陸南部の気仙沼～金華山沖が漁場となる。

#### 3) 常磐海域

(1) 来遊量: 来遊量は徐々に増加し、11月上旬は中位水準、11月中旬は高位水準となる。11月下旬以降は減少し、12月上旬には中位水準、12月中旬は低位水準となる。

(2) 漁場: 11月上旬は常磐南部まで漁場が広がり、11月上旬～12月上旬の間は、常磐北部～南部にかけて漁場ができる。12月中旬には、小名浜～犬吠埼沖に漁場が残る。

### 2. 予測の概要

海 域		11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬
道東海域	来遊量					
	動向	低位減少				
	漁 場	釧路～襟裳岬沖				
三陸海域	来遊量					
	動向	中位減少	中位減少	中位減少	低位減少	
	漁 場	久慈 ～金華山沖	宮古 ～金華山沖	宮古 ～金華山沖	気仙沼 ～金華山沖	
常磐海域	来遊量					
	動向	中位増加	高位増加	高位減少	中位減少	低位減少
	漁 場	北部～南部	北部～南部	北部～南部	北部～南部	小名浜 ～犬吠埼沖

### 3. 漁況の経過概要

(10月中旬)

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、前年・前旬を下回り、中位水準であった。日別 CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、期の半ばにかけてやや来遊量は増加したものの、再び減少した。

##### (2) 漁場

道東海域の主漁場は、落石～厚岸沖と襟裳岬沖であった。

落石南東～厚岸大黒島南 40 海里付近(表面水温 12～15℃)。小型船主体に操業。大型船数隻が操業した日もある。小型船は 20～30トン程度、大型船は 90～100トン以上漁獲する船が多かった。

襟裳岬東南東 30 海里付近(表面水温 14℃)。16 日夜に小型船が数隻操業。20～25トン漁獲。

##### (3) 魚体

29～30cm モードの大型魚が主体。中型以下の魚の混じり具合は、0.5～2 割程度。体重 140g 台が主体。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、前年を下回ったものの、前旬を上回り、高位水準であった。日別 CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、期全体を通して来遊量は安定していた。

##### (2) 漁場

三陸海域の主漁場は、久慈～釜石沖と大船渡～金華山沖であった。

久慈東南東～釜石東沖の 5～30 海里付近(表面水温 17～18℃)。大型船主体で小型船も操業。大型船は 70～100トン以上漁獲する船が多いが、20～40トン程度の船もあった。

大船渡東～金華山南東沖の 10～30 海里付近(表面水温 17～19℃)。13 日夜以降、大型船主体で操業。大型船で 70～100トン以上漁獲する船が多いが、数トン～40トン程度の船もあった。

##### (3) 魚体

30～31cm モードの大型魚が主体。

#### 3) 常磐海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、前年・前旬を上回ったが、低位水準であった。日別 CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、期の半ばに来遊量が増えた。

##### (2) 漁場

常磐海域の主漁場は、金華山沖であった。

金華山南南東 30 海里付近(表面水温 17～19℃)。15～17 日夜に大型船が数隻～10 数隻操業。数トン～100トン以上漁獲。

##### (3) 魚体

30～31cm モードの大型魚が主体。